

## I. M. 日本語日本文学科 3年次

### I. 留学レポート

#### ①協定大学を目指した理由

「留学をしたい」という思いがあったため、本学で協定を結ぶ大学に留学ができるということを知り、留学を目指しました。また、語学研修期間への留学ではなく、現地の大学で正規科目を履修することが出来るという点に大きな魅力を感じました。

#### ②留学を目指してから出願までの語学習方法

留学を目指すまでは、第 2 言語の授業でしか韓国語の勉強をしていませんでしたが、留学を目指してからはまずは TOPIK の勉強を本格的に始めました。TOPIK で、点数を稼ぐには単語力と作文の練習が必要だと感じていたため、この 2 つに重点を置いて勉強していました。作文は、作文のための教材を買って練習しました。リスニングは TOPIK の過去問と、韓国のバラエティ番組やユーチューブを観て勉強を進めました。

#### ③留学決定から出発までの準備期間

ビザは代行を利用せずに自分で取りに行きました。本籍の関係で名古屋の領事館まで取りに行ったため、想定外の交通費がかかってしまいました。領事館のインターネットをしっかりと確認して準備していくことをお勧めします。申請後、数日後にビザを取得することが出来ました。韓国語の学習は TOPIK の韓国語ではなく、日常で使うための韓国語の練習をするために、韓国人の友達と会話して練習していました。

#### ④現地到着後

空港バスで誠信女子大学の最寄りの駅まで移動しました。寮には布団がないので自分で調達する必要がありました。宅配利用などは外国人登録が完了していないと利用できなかったため、大型マートなどに買いに行きました。また、語学堂で使う教科書も留学生は自分で準備する必要があるため、本屋に買いに行きました。

#### ⑤語学研修期間

私のクラスには、私以外に日本人がいませんでした。クラスには、モンゴル人、中国人、ベトナム人の子たちがいました。最初は友達ができるか不安でしたが、授業を受けている間に自然とクラス全員友達になりました。クラスの子たちと週末にソウル市内の高麗(コリョ)大学に行ってバスケットボールをしたり、バレーボールをしたりして遊びました。授業時間外も一緒に遊んで、韓国だけでなく様々な国の文化を知ることができました。

#### ⑥正規科目履修期間

##### ◆大学の施設・環境について

大学には 24 時間営業のコンビニエンスストアと図書館があり、テスト期間は非常に便利でした。図書館には自習室と個人自習室があり、とても良い環境で勉強ができました。また、全てのフロアにウォーターサーバーが置いてありました。大学に行くには急な坂を上らないといけなかったため、

毎日が大変でしたが、坂の横には綺麗な花や緑がいっぱいで気持ちがよかったです。食堂はバイキング形式で美味しかったです。

#### ◆履修科目

私は必ず、本学でゼミ科目に読み替えてもらえる科目を選ばないといけなかったため、そこを基準に授業を選びました。それ以外は午後に開講されている（語学堂の授業時間と重なるため）、自分が取りたい授業を選びました。

##### ・日本語教育論

韓国での日本語教育について学びました。受講者全員が教師役をして模擬授業を行いました。テストはなく、2 回の発表（模擬授業と日本の文化発表）と 1 回のレポート（韓流ブームについて）により、成績が決まります。

##### ・留学生のためのライティング

留学生のための授業で、TOPIK やレポートの使う韓国語を勉強しました。テストは記述形式です。

##### ・韓国文化の理解

文章を読んで、韓国文化を学ぶ授業でした。毎回宿題があり、韓国の文化と自国の文化を比較しました。テストは選択問題と、作文です。

#### ⑦クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ、課外活動、ボランティア活動は何もしませんでした。

#### ⑧現地での住まい

ホームエヌという寮に住んでいました。2 人部屋を 2 人で使いました。近くに飲食店が多くあったので、ルームメイトや友達と外食やテイクアウトをしていました。また、日本から持ってきていた日本食を食べていました。

#### ⑨長期休暇の過ごし方

1 セメスターだったため長期休暇はありませんでした。

#### ⑩留学期間中の就職活動の取り組み

3 年次の春学期中の留学だったため、本学で行われている就職活動セミナーをオンデマンドで視聴していました。留学をしていたことによって、就職活動に遅れが出たとは今のところ感じていません。

## II. 留学の感想

### ①留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

私は韓国の大学生に興味があったので、実際に現地の子たちと一緒に授業を受けて、勉強をする、というこの日常が思い出に残っています。3 科目の正規授業のうち、韓国の子たちと受ける授業は 1 科目だけだったので残念でしたが、とても楽しかったです。

### ②留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

入国後すぐに、食あたりのようなものにかかってしまいました。まだ韓国に到着したばかりで、近くに何があるか把握ができていなかったため、とても不安でした。そのため、留学に行くときは、日

本で飲み慣れている薬を多めに持っていくことをお勧めします。あと、寮のベッドが固かったため、留学期間中はずっと身体が痛かったです。

### ③文化・習慣の違いなどで驚いたこと

教授が授業の休憩時間に大学のカフェで飲み物を毎回ご馳走してくれたことです。日本では、あまり先生と個人 LINE アカウントの交換をしたことがありませんでしたが、韓国では教授とカカオトークを交換していたことも驚きでした。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ①留学先大学の良かった点、悪かった点

キャンパスがとても綺麗なところ、キャンパス内に 24 時間営業のコンビニエンスストアがあること、ATM があることがよかったです。また、大学構内に有名人やユーチューバーが来て撮影していたので、有名人を観ることができました。悪かったことは、大学が坂の上にあるため、毎日坂を上ることが大変でした。

### ②日本から持って行って特に役だったもの

日本食と薬です。外食ばかりするとお金も大変なので、荷物に入るのであれば、たくさん持っていくことをお勧めします。薬は、生理痛薬と風邪薬は日本で飲み慣れているものを持っていくべきだと感じました。

### ③語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学前の TOPIK スコアから留学後には40点ほど点数を上げることができ TOPIK6級も取得することができました。また、留学後には韓国人クリエイターのユーチューブも見ることができるようになり、語学力が向上したことを実感しています。また、アルバイトの時に観光客の韓国人の方に韓国語で説明したりすることが出来るようになりました。

### ④これから留学しようと思っている後輩へのアドバイス

留学は語学力の向上だけではなく、自分の価値観を見直す機会となり、視野が広がることにも関係していきます。国を超えた友人を作ることもできました。目的があって留学したいと思っているなら、絶対に行くべきだと思います。頑張ってください。

## Ⅳ. 将来の目標

### ①今後の進路、将来の目標・夢

今後は日本の一般企業に就職したいと考えています。韓国語の能力を生かすことができないという点は残念ですが、留学を通して得たものは今後の人生に役立つと確信しています。

## V. 写真



大学から留学生に無料でチケットをもらったので、ソウル市が主催、ソウル観光財団が主管する文化観光祭の「ソウルフェスタ」に、語学堂のクラスの友達と一緒に去了。



友達が誕生日にケーキを準備してくれました。仲の良い友達に漢江（ハンガン）で祝ってもらい、とても嬉しかったです。



韓国人の友達と釜山（プサン）へ行った写真です。全ての授業が終わった後に1泊2日で行って来ました。初めての釜山（プサン）は食べ物もおいしく、海も綺麗ですごく良い思い出になりました。



バディの子と毎週月曜日に夕飯を食べていた写真です。バディ制度を利用すると絶対に韓国人と友達になることができるので、利用してよかったと思っています。